

■ 若手技術者が実務として必要な現場管理の基本知識を確認するとともに、管理手法等を学びました。



若手技術者が実務において活用できる施工の点検、段取り、管理手法等を習得しました。また、グループワーク形式で行うことにより、研修を通じて同世代の連帯感をより高めることができました。

- 1 日時 令和元年7月4日（木）
- 2 場所 建設ICT人材育成センター
（大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階）
- 3 対象者 岐阜県内の建設企業の社員で新人の技術者
- 4 参加者 10社 15名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
9:30~10:00	（受付）	
10:00~12:00	「現場管理の基礎」 1) 信頼される現場技術者とは ・事例紹介および技術者の心構え 2) 基本知識習得（グループ演習） ・コンクリートの基本知識	株式会社 建設経営サービス （KKS）講師 中村 秀樹氏
12:00~13:00	（昼食）	
13:00~16:00	2) 基本知識習得（グループ演習） ・仮設工事の安全点検方法と労働安全衛生規則の関係 ・土質、地盤の基本知識 3) 施工技術力を身に付ける演習（グループディスカッション） ・グループで簡単な演習問題を行い、実務上の技術習得を学ぶ ※講師からコメントやアドバイスを行う	
16:00	閉講、アンケート記入	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 5ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
(株) 建設経営サービス (KKS) 中村 秀樹氏



“信頼される現場技術者とは”
これまでの施工事例を基に信頼される技術者の心構えを学びました。



“コンクリートの基本知識”
講義を受け、与えられた課題についてグループディスカッションを行い知識を深めました。



“仮設工場の安全点検方法と労働安全衛生規則”
実際に起こった事故事例を基に、安全点検のポイント等について学びました。



“土質、地盤の基本知識”
土砂崩れや法面崩壊などのメカニズムについて学びました。



“施工技術力を身に付ける演習”
施工の目の付け所について、グループディスカッションを行い知識を深めました。

9 受講者の感想

- ・ 実例を出しながらの説明で分かりやすかった
- ・ 実務による実例がとても分かりやすかった
- ・ グループディスカッションも多く、実例を多く使い分かりやすかった
- ・ グループでやる事がよかった
- ・ ただ話を聞くだけでなく、受けた人同士や先生と話し合うのがとても楽しかった
- ・ 材料分離の件と事故事例と監督署が見るところは、とても勉強になった

以上